

20年後に15%減少する諏訪圏域の人口

諏訪圏域の人口は2004年の211,830人を境に、急激な減少傾向に入りました。

2005年の国勢調査値とそれ以前5年間の人口動態を基に、国立人口問題研究所が発表している将来人口推計値によれば、20年後の2030年の人口は179,436人で、ピーク時の人口と比較すると15.2%の減少になります。2005年～2010年の減少傾向は強くなったので、2010年を基にした推計値はもっと低くなることは確実です。このことは社会や経済への様々な影響が予測されますので、市町村の長期計画も一転してこの人口減少に対処する観点からの策定が求められます。

減少の原因の一つは人口の自然増加が自然減少に転じたことです。出生数から死亡数を引いたのが自然増減ですが、少子高齢化により出生数は減り続け死亡数が増え続けたため、自然増加状態にあった諏訪圏域人口は自然減少に転じ、その減少傾向は今後一層加速します。もう一つは社会増減が社会減少に転じたことです。地域への転入者数から転出者数を引いたのが社会増減ですが、諏訪では転出者の方が多いために社会減少となり、この減少数が年々増加していることです。

